



発行所
〒371-0026
前橋市大手町2-14-6
Tel.027-221-2746
E-mail
mae-cato@pop17.odn.ne.jp
Web
<http://www.maecato.org>

福音を生きる共同体

御前ザビエル神父

4月12日、松が峰教会で行われた聖香油ミサのとき、さいたま教区管理者である岡田武夫大司教様より、任命書をいただきました。「敬愛する御前ザビエル神父様 私は、2017年4月17日付けで、貴師を前橋教会担当司祭（教会法上の主任司祭）ならびに群馬県中央北ブロック協働宣教司牧担当に任命します。」という内容でした。さらに、「宣教司牧に当たっては、ブロックの他の司祭、シスター、信徒とよく話し合い、福音を生きる共同体を育むよう努めてください。」と書いてありました。

わたしとしては、大司教様のお考えを全面的受け入れる心で、働く新しい場で必要とされる恵みと力は^{いたわ}り深い神が備えてくださると信頼して、皆さんの教会共同体に4月19日に参りました。とても温かく迎えてくださったことによって大いに励まされて、心から感謝しています。

さて、教会報に初めて投稿することに当り、わたしの素描を書かせていただきます。わたしは、1944（昭和19）年、聖マリアの誕生を祝われる9月8日、フランスのアンジェ市に生まれました。男ばかりの5人兄弟のうち3番目です。アンジェ市はパリから南西に約300キロメートル離れた町で、中世のお城に展示されている黙示録のタペストリー（織物）が世界的に知られています。

11歳の頃、ラ・サール会（キリスト教学校修道会）の小学校で出された作文「将来、何になりたいですか」に「飛行機でアフリカに行き、宣教師になりたいです」と書き、先生をいたく感動させたことを未だに覚えています。ラ・サール会の経営する小中学校で教師として数年勤めましたが、1974（昭和49）年、教えることより共感する召命を感



じ、「福音の小さい兄弟会」という修道会に入会します。同会はアルジェリアのサハラ砂漠で現地の人々と兄弟的、観想的な生活を通して福音を証したフランスのシャルル・ド・フーコー（1858年～1916年）の遺志を継いで1933（昭和8）年、若い司祭ら

が組織した「イエズスの小さい兄弟会」から生まれた修道会です。

翌1975（昭和50）年12月末、日本の伝統文化に惹かれて来日しました。東京都足立区北千住に住み、日本語学校に通った後、都内で運送会社のトラック運転手をしながら、福音宣教に従事しました。1980（昭和55）年、カナダに渡って神学を学び終わり、3年後の1983（昭和58）年、再来日し、秩父地域で電線解体の3Kの仕事をしたがら、福音宣教を続けました。

1987（昭和62）年3月、飯能市内の聖望学園で塩田泉神父とともに、司祭叙階の恵みに与りました。その後、4年間、東京都調布市に住み、修道者の神学養成に携わり、1991（平成3）年7月からは和歌山市内の精神病院で看護助手をしながら、労働司祭として貴重な体験を積みました。

1994（平成6）年11月、岡田大司教様に請われて上福岡教会の担当司祭となり、同時に教区司祭となりました。2000（平成12）年4月、所沢教会と宮寺教会の担当司祭に転任しました。その間、和歌山時代の1993（平成5）年4月、「相手と同じ立場になることを志して」日本に帰化しました。自分は生い立ちが違うので日本人になれませんが、自分の人生のすべてを日本人に捧げたいというのが直接の動機で、日本に骨を埋める決意をしました。「ザビエル」は洗礼名。御前（みさき）は、精神病院で苦しんでいる青年患者の苗字が〔御前〕で、彼と連帯する意と、神の御前（みまえ）に進むという二つの意味合いで選ばせていただきました。

【2ページへ続く】

【1ページより続く】

これから新しい聖務にあたって、任命書にあった方向に従って歩いていきたいと思えます。それは、「司牧にあたっては、シスター、そして信徒とよく話し合い、福音を生きる共同体を育むように努めて」いくことだと思えます。善い牧者イエス・キリストの導きと祝福に守られて、実り豊かな聖務の遂行をお祈りいたします。

教会の皆さん、また群馬県の司牧者と信徒の皆さんの協力を得て、福音を生きる共同体を育むように尽くすことができますようお祈りしていただければ幸いです。

幼児洗礼式と
御前ザビエル神父様 歓迎のティー・パーティー



4月23（日）復活節第2主日、御前ザビエル神父様が着任されて初めての主日ミサとなりました。

ミサの中で、ふたりの幼児洗礼が行われました。

ミサ後に、ザビエル神父様着任を歓迎して、また洗礼の恵みを受けた二人の子どもと、ご家族をお祝いして、ティー・パーティーが行われました。

(編集部)



さいたま教区管理者 岡田武夫大司教様
群馬中央北ブロック堅信式

5月14日（日）前橋教会において、さいたま教区管理者岡田武夫大司教様により、群馬中央北ブロック堅信式が行われ、17名が堅信の恵みに与りました。



岡田大司教様主司式ミサと堅信式



↑人びと、岡田大司教様から堅信の秘を授けられました。
受堅者の皆さん、おめでとうございます。



初聖体 おめでとうございます

6月18日(日)のミサにおいて、昨年より準備の勉強を続けてきた8名の子ども達が初聖体を受けました。おめでとうございます。



この日は「母の日」でもありましたので、岡田大司教様より母の日のために祝福をいただきました。

ミサの後、受堅者と代父母の皆さんは、大司教様を囲んで記念撮影を行いました。続いて参加者全員で記念写真を撮影しました。

撮影の後、アレルヤ館に移り、大司教様を囲んで、また、受堅者の皆さんを祝福して、パーティーが行われ、賑やかなひと時を過ごすことが出来ました。

(編集部)



5月27日(土)あかつきの村に隣接するカトリック前橋霊園において霊園ミサが行われました。



教会敷地の隅に建っていたプレハブ造の物置が撤去されました。



「さいたま教区宣教・福音化年」研修のお知らせ

各県ごとに信仰講座を開催しておりますが、宿泊研修を以下のように行いますので、お知らせいたします。

日時： 2017年7月15日(土)～17日(月・祝)
集合： 12:00(昼食は用意いたします。)
場所： バタニア修道女会 聖ヨゼフ修道院
栃木県那須郡那須町大字豊原乙3101-2

申込〆切は7月4日(火)です。
申込書はHP各種書類よりダウンロードしてください。

問合せ： カトリックさいたま教区司牧センター
(Sr.蓮沼)

Mail pace-saitama@nifty.com
Tel: 048-832-6300(火木金10:00～16:00)
(さいたま教区ホームページより抜粋)

さいたま教区宣教・福音化年

第3回 講座予定

日時 7月8日(土) 14:00～

場所 太田教会

講師 岡田大司教

7/16(日)カルメル祭
am.10:00～ マリア行列 主日ミサ
ミサ後 祝賀会 催し(歌・ダンスなど)

※カレー、ピーフン・サラダ、ハロハロ、
バナナの春巻きなど用意しています。

(有料)

第4回 教区侍者会

日時： 2017年7月26日～28日

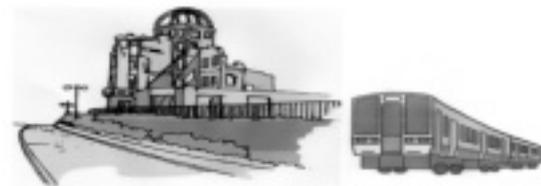
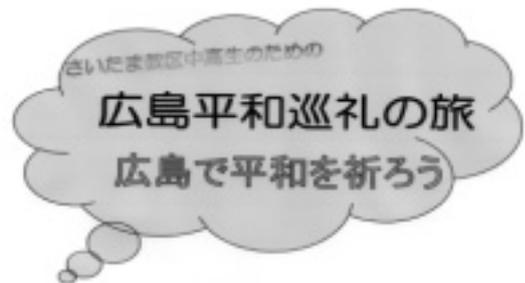
場所： 那須高原「マリアの家」

栃木県那須郡那須町大字高久乙1849-5

対象： 初聖体を受けている中学生、高校生

申込は司祭まで(教会学校で参加者を募り調整します。)

7/29(土)～30(日)
教会学校 サマーキャンプ(予定)



各駅停車で行く、「青春18きっぷ」の旅。18歳でない「あなた」も、異世代の教区の仲間と平和を祈る

期間：2017年8月3日(木)～8月8日(火)

主催：さいたま教区子どもの信仰教育委員会